鹿児島大学（鹿児島県）

九州の南端で<日本>を学ぶ･<日本>を研究する基礎作りをしませんか！

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

１）特色と歴史

鹿児島大学は、九州最南端に位置し９学部、９研究科を有する国立の総合大学です。鹿児島大学が新制国立大学として発足したのは昭和24年です。はじめは文理、教育、農、水産の4学部からスタートしましたが、その後、医学部、工学部、歯学部、共同獣医学部、各種大学院等を整備して今日に至っています。

文系学部は法文学部と教育学部があり、さまざまな分野の教員が在籍しています。教員の専門分野については、本学のHPを参考にして下さい。

２）教員・学生数等

学部生（留学生）	8,574名 （176名）
大学院生（留学生）	1,570名 （192名）
教員	1,083名
職員	1,593名

② 国際交流の実績

現在、学部生8574名のうち留学生176名、大学院生1570名のうち留学生192名が在籍しています。

過去10年間の日本語・日本文化研修留学生の出身と専攻分野は以下の通りです。この中の何名かは鹿児島大学大学院への進学を希望する他、再来日して鹿児島の地元企業に就職しています。

出身…スリランカ、エジプト、ブラジル、韓国、中国、ウクライナ、トルコなど。
専攻分野…日本語学、日本史、日本文学、政治学、経済学、社会言語学、日本文化論など。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2023年：留学生数368人、日研生4人
2022年：留学生数294人、日研生7人
2021年：留学生数303人、日研生8人

④ 地域の特色

鹿児島県は九州の南端に位置し、世界遺産の屋久島や、活火山である桜島など、美しい自然が見られます。歴史的にはフランシスコ・ザビエルの来航、また幕末には英国に留学生を送るなど海外交流の歴史は古くから続いています。

鹿児島市は人口約60万人の都市で、イタリアのナポリ市やオーストラリアのパース市、アメリカのマイアミ市と姉妹都市盟約を、中国の長沙市とは友好都市盟約を結んでいます。

気候も温暖で、年間を通して過ごしやすいだけでなく、生活環境、勉学環境も整っており、快適な留学生活を送ることができます。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

b) 主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

次のような研修留学生を募集します。
a) 日本語能力（聞く・話す・読む・書く）をさらに伸ばしたい人。
b) 日本文化や日本文学、日本社会、異文化コミュニケーションを中心に総合的に学びたい人。
c) 鹿児島地域の文化、歴史に興味を持ち、研究テーマとして発展させたいと考えている人。

鹿児島大学では留学生の日本語能力に応じたきめ細かい指導を行っています。
また鹿児島地域の歴史・地理・文化を学んだり、地域の人との交流活動を行い、深く日本や鹿児島を理解できるプログラムを行います。

③ 受入定員

８名（大使館推薦３名、大学推薦５名）

④ 受講希望者の資格、条件等

次の(a)及び(b)の条件を満たしている者が、このコースを受講できます。
(a) 外国の大学に 1年以上在籍し、日本語または日本の文化、文学、社会等に関する分野を主として学習している者。
(b) 日本語能力試験のN3以上に合格または同等の能力を有する者。

⑤ 達成目標

日本語能力試験で、来日時より 1つ上のレベルの合格を目標とします。また、日本語によるポスター発表、修了レポートの作成を達成目標としています。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2024年9月下旬　～ 2025年8月下旬
（在籍期間：2024年10月1日～2025年8月31日）

⑦ 奨学金支給期間

2024年10月　～　2025年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

（記載例）
9月下旬：渡日
10月：秋期オリエンテーション、授業開始
11月：大学祭
2月：授業終了
4月：春期オリエンテーション、授業開始
8月：授業終了、ポスター発表、
修了式(2023年は8月7日に実施)
8月下旬：帰国（2023年は8月13～31日頃）

⑨ コースの修了要件

規定の単位を取得し、日本語ポスター発表及び修了レポートを提出することが条件です。コース修了時には修了証を発行するとともに、受講した科目については成績証明書を発行します。

〈日本語能力向上コース〉

科目群	科目数	単位･時間数
日本語科目	6科目	10単位 300時間
文化学修科目	2科目	4単位 60時間
修了レポート ポスター発表	2科目	6単位 180時間
自由選択科目	2科目以上	2単位以上 60時間以上
参加型科目	1科目	単位なし 60時間
コース修了に 必要な単位と時間	13科目	20単位 600時間

〈日本語・日本文化研究コース〉

科目群	科目数	単位数	時間数
日本語科目	2科目	2単位	60時間
文化学修科目	1科目	2単位	30時間
修了レポート ポスター発表	2科目	6単位	180時間
自由選択科目 専門科目	8科目以上	16単位以上	240時間以上
参加型科目	1科目	単位なし	60時間
コース修了に 必要な単位と時間	14科目	24単位	510時間

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1）研修・コース科目の特徴

授業は原則として、Ⅰ期・Ⅱ期各15週間開講します。留学生の日本語力、留学目的に合わせて〈日本能力向上コース〉と〈日本語・日本文化研究コース〉のどちらかを受講します。コースの選択については、プレースメントテストの結果をもとに、グローバルセンターの教員と相談して決めます。

2）研修・コース開設科目

Ⅰ）必須科目・内容

〈日本語能力向上コース〉

日本語力に応じてグローバルセンターの日本語科目や文化の科目を中心に受講します。

日本語学修科目

会話：場面や相手に応じた会話のスタイルを学ぶ。
読解：読解に必要な技術を学ぶほか、要約、発表資料作成などを行う。
作文：レポート、論文作成の基礎を学ぶ。また先生や目上の人に送るような、やや改まったメールの書き方を学ぶ。

文化学修科目

日本社会と文化：日本の社会や文化について基礎的な知識を学ぶ。

修了レポート、ポスター発表
・各自テーマにそった修了レポートを作成
・修了時に、日本人学生や地域の人を招いてポスター発表を行う。

〈日本語・日本文化研究コース〉

グローバルセンターの日本語科目の他に学部の専門科目、共通教育の文化学修科目を受講します。

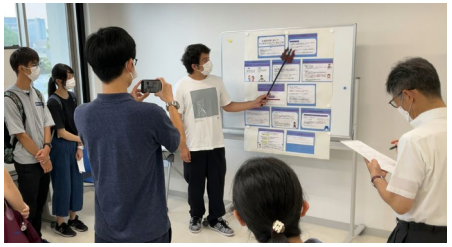
日本語学修科目

総合日本語：口頭発表の構成、構造を学ぶ。また、発表資料を作成する。
作文：論文レポートの書き方を学ぶ。

文化学修科目

日本事情：日本社会の諸相について学び議論する

修了レポート、ポスター発表
・各自テーマにそった修了レポートを作成
・修了時に、日本人学生や地域の人を招いてポスター発表を行う。



＊ポスター発表のようす

Ⅱ）選択科目・内容

〈日本語能力向上コース〉
〈日本語・日本文化研究コース〉共通

演習：指導教員のゼミに参加する

法文学部、教育学部、共通教育センターで開講されている科目の中から選択して受講する。

科目例：アジア歴史・文化研究
日本近現代文学研究・近代文学購読
多文化交流論・国語学特講
社会言語学

３）研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

地域行事への参加　（単位なし）
　小学校訪問や地域の国際交流行事に参加して、自国の紹介などを行います。

４）日本人学生との共修がある科目・内容

日本人学生と留学生の共修科目
・Intercultural Communication for Global Citizens：現代社会のさまざまな課題について議論する
・Confronting Kagoshima Regional Issues：異なる文化的背景を持った外国人留学生と日本の学生が現在鹿児島が抱える問題を多面的に考察し、調査し、発表する。

　上の科目以外でも共通教育科目ではアクティブラーニングを推奨しています。授業の中で日本人学生とディスカッションをしたり、プロジェクトワークを行ったりします。アクティブラーニングが授業に占める割合はシラバスに記載されていますので、事前に確認することができます。

⑪ 指導体制

氏名(職名)	所属	専門
和田　礼子（教授）	グローバルセンター	日本語教育 日本語文法
中島　祥子（准教授）	法文学部	日本語教育 異文化理解教育
梅崎　光（准教授）	教育学部	国語学 日本語の歴史
酒井 佑輔（准教授）	法文学部	地域研究・社会教育 (Non-formal Edu)
市島佑起子（講師）	グローバルセンター	日本語教育 社会言語学

研修留学生の専門分野に応じて、教育学部・法文学部の教員の中から指導教員を 1名定め、学習・研究上のアドバイスを行っています。生活面の指導については、グローバルセンターと連携しながら行います。

■宿　舎

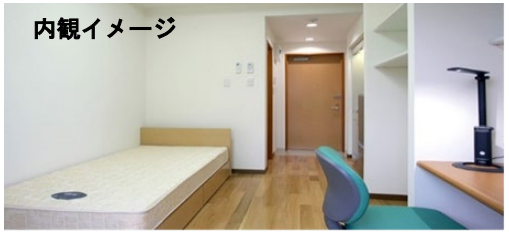
・鹿児島大学内の留学生用の宿舎
　国際交流会館（郡元キャンパスから徒歩20分）
　単身室　25,000円/月
　　※光熱水費が別に必要です。
　　※部屋の割り当てについては希望に添えない場合があります。
　　※電子たばこを含め敷地内は禁煙です。

・過去3年間の日研生の入居状況

年度	人数	宿舎入居状況
2023年度	4名	国際交流会館へ入居
2022年度	7名	国際交流会館へ入居
2021年度	8名	国際交流会館へ入居

外観イメージ

内観イメージ



■修了生へのフォローアップ

日研生が帰国した後も、プログラム実施委員が必要に応じてメール送受信を行っています。

[修了生の進路（例）]
・日本や母国の大学院へ進学
・日本に再来日して就職
・母国で日本関連企業に就職

■問合せ先

<担当部署>
鹿児島大学学生部国際事業課
住所：〒890-0065
　　鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21番30号
TEL：+81-99-285-7325（直通）
FAX：+81-99-285-7083
Email：ryugaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp

<ウェブサイト>
鹿児島大学グローバルセンター：
　http://www.gic.kagoshima-u.ac.jp/
鹿児島大学：
　https://www.kagoshima-u.ac.jp/